

# 三重県消防学校校訓・校歌

校訓は昭和 62 年に、校歌は昭和 63 年に制定されました。

消防学校が鈴鹿市に移転開校した昭和 53 年当初から、教育訓練の柱となる理念を象徴した「校訓」、また入校生の心の支えとなり親しまれる「校歌」の必要性を感じ、教職員一同色々模索していた。

しかし、種々検討されるもなかなか決定されなかった。

そこで、移転開校 10 周年の節目となる昭和 63 年までに制定しようとの目標を立て鋭意取り組むこととなった。

昭和 62 年、いよいよ期限が迫り当時の教職員で喧々譁々議論した結果、現在の校訓＝[規律・忍耐・信頼・創造]に決定し、校歌は三重県に縁があり実績のある「和田直」氏と「みずの稔」氏に依頼することとなった。

校歌については、来校された「みずの稔」氏に学校風景・消防訓練・体力練成・寮生活等々肌で感じていただき、教職員の校歌に対するイメージをお伝えした。

特に、訓練期間の長い初任科生の心情や心意気、郷土愛、消防人生スタートへの励ましや決意、未来への希望、校門前の桜並木、鈴鹿山脈と鈴鹿おろし等々をお伝えしたところ、イメージ以上の素晴らしい校歌を創っていただき当時の教職員一同感激し、おおいに感銘を受けたとのことでした。

入校生に親しまれ心に響く素晴らしい校歌だと思います。

校訓  
規律 忍耐 信頼 創造

三重県消防学校校歌

(希望あらたに)

みずの稔・作詞  
和田直・作曲

一、空に舞う桜ふぶき

山脈はるかあおぐ学舎

より高く理想をかかげ

より深く知識を学ぶ

ああ三重県消防学校

今今今希望あらたに

二、朝夕にはずむ点呼

明日に刻む夢と信頼

より競い身体をきたえ

より励み技術をみがく

ああ三重県消防学校

今今今心あらたに

三、肌をさす鈴鹿おろし

使命に燃えて巣立つ学舎

より早く災い防ぎ

より強く郷土を守る

ああ三重県消防学校

今今今決意あらたに